

令和7年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立山口幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
地域とともに心豊かにたくましく	少人数保育における環境や援助について 生き生きと遊ぶ子供を育てる	魅力ある環境	自然体験・直接体験	身近な自然に触れる直接体験を大切にしてきた。様々な体験から、生き物を大切にすること、ものを作ったり描いたりして表現しようとする、繰り返し試すこと、ICTや図鑑で調べようとするなど、いろいろな力に繋がっている。
		優しい心や豊かな感性を育む	夢中になって遊び込むための環境	主体的に遊び込める空間や、素材・道具を用意するなど、自由に人やものとの「対話」を大切にできるような環境づくりに取り組んでいる。
			人との触れ合いを充実させる	小学生や地域の方、外部講師など、様々な人との交流がもてるような工夫を図っている。様々な考えに触れる中で、対話が広がり、相手を受け入れたり、自分を調整する経験を重ねるなどコミュニケーション能力の向上に努めている。
			1人1人の思いを尊重する	1人1人の思いをありのまま受け止め、認めていくことで、自分の思いを出し、自信をもって生活するようになってきている。また、他者を大切にすることも芽生えてきている。
		家庭との連携、子育て支援	豊かに表現する力を育む	自然遊びや行事活動など、心を動かす出来事に触れ、感性をため込むことで、自分なりの表現でのびのびと楽しめるようになった。
			保護者との連携	家庭支援として、子育て上の困りごとや悩みに、丁寧な対応を心がけている。保護者の心の安定は、子供の心の安定に繋がる。園と家庭が両輪となり、よりよい指導や支援に繋がりたい。
			園教育の発信	園便りやクラス便り、LINE、HPを使って、園の様子を発信している。また、地域や、未就園児親子に向けて、園の取り組みを発信し、園教育への理解を得ている。園と地域、保護者の良好な関係が、より豊かな教育に繋がっていると感じる。
		子育て支援	地域の子育て支援センターの役割として、在園児保護者だけでなく未就園児保護者も、語り合ったり、互いに悩みを相談したり、互いに情報共有するなど、ほっと一息つける場として活用されている。	

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

今年度は、少人数保育における環境や援助のあり方として、研究を深めた。保護者にも、保育の様子を細やかに発信したり、個別にゆっくりと伝えることを心がけてきた。普段からみんなで見守る体制、同じ子供観をもって援助することを心がけてきた。また、保護者との対話を大切に、保護者支援に努めてきたことが、保護者の方からの信頼や、園教育への理解を得られる結果に繋がったのではないかと考えている。また、これからも個々への丁寧な関わりやきめ細やかな指導を大切に、安心して子供を預けられるような幼稚園を目指したい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

園の課題に向けての取り組みの一つとして、地域交流を深め、様々な人との交流の推進を図った。子供たちは、地域の方と農業体験を行ったり、園の近隣の広場で虫取り、水路で魚とりをするなど、地域に出向いて、様々な直接体験を行った。また、地区の文化祭、地域の高齢者との交流(ふれあい食事会)、スポーツフェスティバルなどでは、地域の方々との交流が行われ、園児にとっても地域の方にとっても互恵性のある交流となった。今後はさらに地域の人材や自然環境などの資源を生かし、活動や学びを豊かにしていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

地域よりご協力をいただき、今後は、地域より講師を招くなど保育の充実を図るなど、さらに特色ある園教育を打ち出していくため、地域との連携を一層充実させていく。また、小学校と併設している環境を活かし、幼小連携の推進に努めていくこと、未就園児保護者に向けて、幼児教育の大切さや公立幼稚園の取り組みの発信を工夫していくことなど、魅力ある幼稚園づくりに取り組んでいきたい。